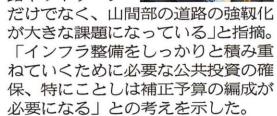
励ます会で足立議員「補正予算が必要

建設産業界の職域代表として国 政での活躍を続ける足立敏之参院 議員を励ます会が28日、東京都千代 田区のホテルグランドパレスで開か れた。会場に詰めかけた支援者ら約 800人を前に足立議員は、昨年7月 の当選から約1年間の活動を振り返りながら、「災害が発生した際など 現地へと足を運ぶたびに(建設産業 を始めとする)皆さまのご活躍を目 の当たりにしている。皆さまにともあ るかもしれないが、これからも政治 家として成長していく姿を見ていた だきたい」と述べた一写真。

「頻発化する自然災害から改めて 事前防災の必要性・重要性を痛感し ている。特に道 路が防災に果た す役割は非常に 大きい。(7月の 九州北部豪雨を みても)高速道 路ネットワーク



「インフラ整備の担い手である建 設産業、あるいは関連産業のこれか らの未来を支えていくのが私の使 命。(公共投資は)量と質の両面で の確保が、これからもますます重要になっていく」と力を込めた。

建設業界を代表して祝辞を述べた 日本建設業連合会の山内隆司会長は 「改正品確法にうたわれている受注 者の適正な利潤の確保が、発注者の 責務として着実に浸透してきてい る。大手のみならず、地方・中小の 建設企業を含めた業界全体の代表と して引き続き(国政での)積極果敢 な活動をお願いしたい」と期待を寄 せた。

また、中締めの音頭を取った全国 建設業協会の近藤晴貞会長は「地域 建設業にとっては経営基盤の改善と 安定化という解決しなけければなら ない喫緊の課題がある。今年度の補 正予算は昨年度並みではなく、昨年 度以上となるように頑張っていただ ければありがたい」と締めくくった。